

漁海況月報

令和7年9月1日

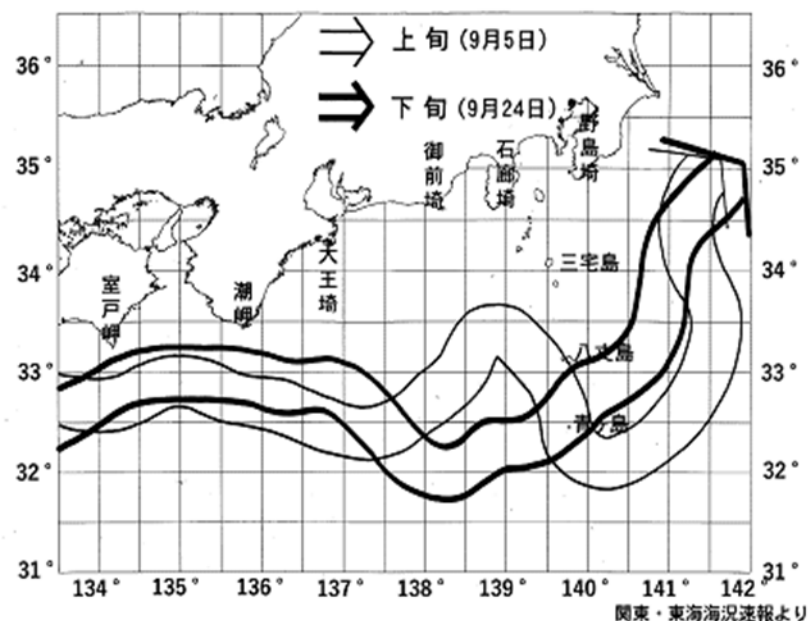
No. 9 ～9月30日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



9月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	26.1	24.3	24.1	25.7	27.3	26.2
	0.8	-0.9	-0.9	-0.2	1.5	0.3
中旬	25.6	24.1	23.8	25.9	26.5	25.8
	0.7	-0.9	-1.0	0.6	1.2	0.5
下旬	24.2	24.2	24.1	25.0	24.9	25.0
	0.2	-0.1	-0.1	0.5	0.6	0.7
月	25.3	24.2	24.0	25.5	26.2	25.7
	0.5	-0.6	-0.7	0.3	1.1	0.5

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

9月を通じてC型で、上旬は石廊崎沖で北上した後に南下してW字状を呈し、中旬は八丈島と青ヶ島の間を通過し、下旬は青ヶ島を通過して八丈島の南から北上する流路となった。

上旬は遠州灘沖で大きく離岸した後、遠州灘沖32.5°N付近から石廊崎沖33.5°N付近まで北上した。その後、八丈島の東を通過しながら32.5°N付近まで南下した後、34.5°N付近まで北上して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から駿河湾、遠州灘、熊野灘に向けて見られた。

中旬は駿河湾沖で大きく離岸し、駿河湾沖32.5°Nから八丈島～青ヶ島間33.0°Nを通過した後、35.5°N付近まで北上して北東に流去した。暖水波及が八丈島～青ヶ島間の黒潮屈曲部から三宅島に向けて見られた。

下旬は駿河湾沖で大きく離岸し、駿河湾沖32.0°N付近から青ヶ島を通過しながら八丈島の南33.0°Nを通過し、35.0°N付近まで北上して北東に流去した

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田で「やや低め」、雲見、焼津で「平年並み」伊東で「やや高め」、沼津で「高め」であった。中旬は稲取、下田で「やや低め」、伊東、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田で「平年並み」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。

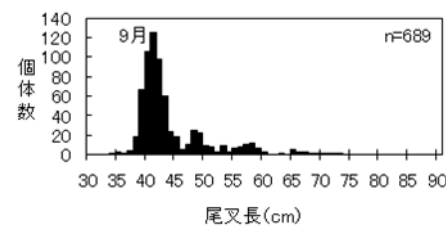
【竿釣カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは44.0トンで前年同月(88.9トン)の49%であった。平均単価は513円/kgで前年同月(405円/kg)を上回った。

漁場は34-35°N、138-139°Eの八丈島周辺などで、9月24日に御前崎港で実施した市場調査では、高瀬において漁獲されたカツオの尾叉長組成は極小(尾叉長41cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	平均水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
R7年9月上旬	12.3	10	1.2	549
中旬	15.4	15	1.0	638
下旬	16.3	4	4.1	367
R7年9月計	44.0	29	1.5	513
R6年9月計	88.9	54	1.6	405
R5年9月計	143.7	40	3.6	361



御前崎港で測定したカツオの
尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は224.0トンで、前年(361.8トン)の62%、平年(334.7トン)の67%であった。また、1か統当たりの水揚げ量は32.0トン(前年:51.7トン、平年:47.8トン)であった。水揚げ量の多い漁場は、古網漁場(103.0トン、さば類、マアジ、ブリ)、次いで伊豆山漁場(41.3トン、マアジ、さば類、ウルメイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は83.5トン、前年比1.9倍、平年比65%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは1.4トン、前年比57%、平年比19%、ゴマサバは73.1

トン、前年比2.0倍、平年比67%、さばっこ（小型当歳魚銘柄）は9.0トン、前年比2.1倍、平年比60%であった。マアジは36.8トン、前年比98%、平年比1.5倍であった。マルソウダは14.1トン、前年比18%、平年比29%であった。ブリは13.6トン、前年比99%、平年比1.0倍で、銘柄わらさ、わかし主体であった。ウルメイワシは11.8トン、前年比2.6倍、平年比2.0倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下（表）のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では古網漁場が70%（58.4トン）、マアジでは古網漁場が34%（12.7トン）、伊豆山漁場が25%（9.4トン）、谷津漁場が16%（5.7トン）、マルソウダでは古網漁場が37%（5.2トン）、伊豆山漁場が29%（4.0トン）、谷津漁場が21%（2.9トン）、ブリでは古網漁場が59%（8.0トン）、伊豆山漁場が15%（2.1トン）、ウルメイワシでは古網漁場が52%（6.1トン）、伊豆山漁場が48%（5.7トン）であった。

＊平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場				
魚 種	水揚量（トン）	前年比	平年比	主な漁場
さば類	83.5	1.91	0.65	古網
マアジ	36.8	0.98	1.54	古網、伊豆山、谷津
マルソウダ	14.1	0.18	0.29	古網、伊豆山、谷津
ブリ	13.6	0.99	1.02	古網、伊豆山
ウルメイワシ	11.8	2.59	2.03	古網、伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は上中旬は棒受網主体、下旬はたもすくい主体で操業した。漁場は、上旬は御前埼沖及び金洲、中旬は金洲及び三本、下旬は大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ6トン（前年同月比25%）であり、1隻当たり水揚量は0.9トン（前年同月比53%）であった。マサバの水揚げはなかった。平均単価は266円/kgで前月（246円/kg）及び前年同月（239円/kg）を上回った。漁獲物の体長組成は、35cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量									
期 間	水揚量（トン）		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻（トン）		平均単価（円/kg）		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7年9月上旬	－	3.5	3	3	－	1.2	－	288	御前埼沖、金洲
中旬	－	0	1	1	－	0.0	－	649	金洲、三本
下旬	－	1.9	2	2	－	0.9	－	222	大島千波
R7年9月計	－	5.4	6	6	－	0.9	－	266	大島千波、金洲、御前埼沖、三本
R6年9月計	－	23.6	9	15	－	1.7	－	239	利島、大島千波
R5年9月計	－	56.5	9	9	－	6.3	－	153	利島、大島千波

＊水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
＊表中の「－」は水揚げがなかったことを示す。

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が213kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が189kgであった。平均水揚量は201kgで前年同月（134kg）の1.5倍、平年同月（過去5か年平均：221kg）の91%であった。また、総水揚量は381トンで前年同月（158トン）の2.4倍、平年同月（324トン）の1.2倍で前年同月、平年同月を上回った。平均単価は1,580円/kgで前年同月（1,370円/kg）の1.2倍、平年同月（1,047円/kg）の1.5倍で、前年同月、平年同月を上回った。

＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

7港のシラス水揚量						
漁 港	水揚量（トン）	延日数	延統数	平均水揚量（kg/統）	平均単価（円/kg）	
遠州灘	新 居	22.3	11	124	180	1,515
	舞 阪	81.2	11	407	200	1,490
	福 田	58.5	11	259	226	1,533
	御前崎	34.8	15	134	259	1,444
駿河湾	吉 田	80.8	17	418	193	1,656
	用 宗	93.3	17	351	266	1,698
	由 比	10.1	12	204	49	1,489
R7年9月計		381.0	94	1,897	201	1,580
R6年9月計		158.0	64	1,180	134	1,370
R5年9月計		133.7	62	1,023	131	1,571

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、沼津港では11トン（前年同月比65%、平年同月比1.2倍）、小川港では6トン（前年同月比42%、平年同月比59%）、静岡港、伊東港では水揚げがなかった。カタクチイワシは沼津港、小川港、静岡港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは7トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。
＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

9月 4日	ドックから回航	(1日間)
9月 8日	水質調査	(1日間)
9月 9日 ～ 9月 10日	地先定線観測調査	(2日間)
9月 18日 ～ 9月 19日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)
9月 25日 ～ 9月 26日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ
トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>
右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、
関東・東海海況速報等を見ることができます。

